

# 平成22年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成22年9月16日

施設名	青少年センター	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

## 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成21年度新たに19のプログラムを開発し、従来の貸館業から主催事業中心に事業転換を図った。</li> <li>○中1ギャップ解消のための中1学級づくり合宿では、事前に直接学校長から聞き取りを行い、学校によって異なる課題に対応したオリジナルプログラムをつくることで、より効果の高い内容となるよう工夫した。</li> <li>○各主催事業は、他の団体が実施している事業と内容が重ならないように工夫しており、プログラムの独自性を追求している。</li> <li>○各事業ごとにメディアに直接連絡し、情報の提供と積極的な取材の受入をした。その結果、平成21年度は高知新聞に10回取り上げてもらった。</li> <li>○近隣市町村校長会等に積極的に出向いて、事業の説明と協力依頼を行った。</li> <li>○ソフトボール球場の利用方法の見直しを行い、使用後に整備をするという条件で、次の日試合がなければグラウンドコンディションが悪い場合でも使用を許可することとした。</li> <li>○入所時刻に柔軟に対応するため、学校関係者の宿泊だけの利用に対しては、利用案内のDVDをみてもらうことでオリエンテーションに変え、利用者サービスの向上に努めた。</li> <li>○宿泊を伴う施設利用は、1年前からの予約を受け付けることとした。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館のキャンセルが出た場合、お知らせするメールリストサービスを始めた。</li> <li>○国の経済対策による臨時交付金を活用し、本館・別館の冷暖房、別館の窓のサッシ修理、畳の入れ替え、布団の購入、浴室の改修等を実施した。</li> <li>○主催事業プログラム一覧をワンペーパーで作成し、年間を通してどんな事業を実施しているのかわかりやすくPRした。</li> <li>○教育委員会が行う教育長表彰制度にエントリーし、職員に成功体験を積ませることによる職員の資質向上と意識改革をすすめた。その結果、担当職員からより事業効果が上がるようなプログラムの改善提案が出てくるなど、利用者の立場に立った取組みにつながっている。</li> <li>○野外炊飯棟から障害者用トイレへの、芝生・土になっていたアプローチに舗装路を整備し、車椅子でもいけるようにした。</li> </ul>
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型インフルエンザ対策のため体育館、本館、別館各入り口に消毒用アルコール噴射器を設置し、入館前の消毒を呼びかけるなど、安全管理を徹底した。</li> <li>○野外炊飯の指導を土佐青少年育成会職員に協力してもらうなど、業務の効率化に努めた。</li> <li>○主催事業に若い知恵を取り入れるため、大学生等のボランティアを積極的に活用した。</li> </ul>
④利用実績	<p>○平成21年度の利用実績は、宿泊者数8,220人、利用団体数1,754団体、利用者数124,793人であった。平成20年度と比較して、宿泊者数は307人、利用団体数は47団体増加した。利用者数は1,003人減少したが、平成20年度はマスターズ関連の利用者が多かったため、実人員では増加している。</p>
⑤収支の状況	<p>○平成20年度と比較して、使用料収入は208千円の減収となった。</p>

<p>総合評価</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの貸館業から事業中心の施設に転換を図り、『子どもたちの自立とキャリアデザインをサポートする』というビジョンのもとに、新たな視点で19ものプログラムを開発した。</li> <li>・中1学級づくり合宿事業などプログラムの実施にあたって、利用者のニーズ把握に努め、より効果の高い内容となるよう工夫している。</li> <li>・また、所長自ら人材育成の観点での下地づくりを地道に行ってきた結果、職員からプログラム改善についての提案が出てくるなど組織力の向上につながっている。</li> <li>・主催事業では、研修棟・宿泊施設・体育館等の各施設を複合的に活用したプログラムを作成し、研修メニューを工夫している。</li> <li>・施設の老朽化が激しい中、利用者の安全性確保に努めるとともに、空調設備や浴室等の改修をはじめ、施設修繕を実施し、利用者サービスの向上に努めた。</li> </ul>
-------------	----------	---